

<チター ミニコンサート>

1月8日（土）今泉会台町内会館大集会室において、今泉台にお住いの内藤敏子さんをお招きして、チターのミニコンサートを開催しました。午前・午後の部と合わせて100名近くの方々が参加されました。チターの演奏、そしてお話に心が和み、町内の皆様と心やすらぐ新春のひと時を過ごすことができました。

「チターという楽器を初めて知りました」

「チターの音色は心が癒されますね」

「『第三の男』を見た頃の自分を思い出し感慨深かったです」

「内藤さんの次々と出てくるお話がとても楽しかったです」

などのお声を聞くことができました。



【演奏より】



プログラムは「我が夢の街ウィーン」から始まり、続いて映画音楽メドレー、「シェルプールの雨傘」や「エーデルワイス」など、皆の愛する映画曲がチターの音色と共に心に沁み入りました。

「チターは手軽に持ち運びができて、ヨーロッパでは、森の中などでも演奏するのです。小鳥やウサギ、シカなどの動物も集まってきて・・・」という牧歌的なお話をうっとり聞いているうちに、映画「第三の男」のメドレーが始まりました。チターといえば「第三の男」というほど、アントン・カラスの演奏を思い出す年配の方々が多いかもかもしれません。

エンディングは「さくら」「心への道」を優雅に演奏していただき、チターの幅広さ奥深さを感じることができました。



【内藤敏子さん】

チター奏者の内藤さんは、留学先のスイスでチターに魅せられ、世界的なチター奏者に師事。帰国後は数々のオーケストラとの協演やラジオ・テレビに出演するなど精力的に活動されてきました。またその一方精神的なケアにも力を入れ、病院や施設などでの地道な公演も続けられています。